

知識・スキル習得の 実態と誘因、影響要因

ワーキングパーソン調査2010
二次分析

<ワーキングパーソン調査2010 調査概要>

■目的

首都圏で働く人々の就業に関する実態と意識を明らかにする。

■調査対象母集団

首都圏50km(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)で、正規社員・正規職員、契約社員・嘱託、派遣、パート・アルバイト、業務委託として2010年8月最終週に1日でも就業している18～59歳の男女。(学生除く)

■サンプル数

9931名(男性:5753名、女性:4178名)
(06年集計よりウエートバックによる集計は行っていない)

■サンプリング

社員グループとパート・アルバイトグループに分け、性別・年齢5歳階級別・エリア別に割り付けを行った。
社員グループは、「正規社員・正規職員」
パート・アルバイトグループは、「契約社員・嘱託」「人材派遣企業の派遣社員」「パート」「アルバイト」「業務委託」

■調査期間

2010年9月16日～9月27日

■調査方法

インターネット調査

<正社員・大卒以上の者への追加調査>

ワーキングパーソン調査回答者のうち、正社員かつ大学卒・大学院卒以上の者へ、以下の概要で追加調査を行った。

■調査対象母集団

ワーキングパーソン調査における正社員かつ大学卒・大学院卒の男女。

■サンプル数

2000名(男性:1558名、女性:442名)

■サンプリング

性別・年齢10歳階級別に割り付けを行った。

■調査期間

2011年1月21日～1月26日

■調査方法

インターネット調査

<本二次分析の目的>

学習行動のメカニズムを探索するために、ワーキングパーソンの知識・スキル習得行動の実態、行動を促す要因や、行動によって変化・影響を受ける要因を分析した。

1. 自身の知識・スキル不足に関する認識

◆回答者の半数以上(58.8%)が、今後の仕事・職業人生において、自分の知識・スキルが「やや不足している」と感じている。また、スキル不足を感じている(「強く感じている」「やや感じている」との回答を合わせた)人は、75.6%となっている。

Q8. あなたは、今後の仕事・職業人生において、自身には知識・スキルが不足していると感じていますか。

	N数	%
強く感じている	335	16.8
やや感じている	1175	58.8
あまり感じていない	448	22.4
ほとんど感じていない	42	2.1

1-1. 回答者属性による違い

◆年齢別にみても、若い世代ほど自分の知識・スキルの不足を感じていることがわかる。18~24歳では、9割近くがスキル不足を感じている。一方、45歳以降はスキル不足を感じていない人(「あまり感じていない」「ほとんど感じていない」の合算)が、3割を超え、55歳以上になると、スキル不足を感じている人、感じていない人の割合が半々となっている。

		18~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳
強く感じている	N数	51	81	59	66	28	24	16	10
		63	207	194	218	167	115	121	90
		14	45	43	63	51	72	75	85
		1	3	4	4	6	6	3	15
強く感じている	%	39.5%	24.1%	19.7%	18.8%	11.1%	11.1%	7.4%	5.0%
		48.8%	61.6%	64.7%	62.1%	66.3%	53.0%	56.3%	45.0%
		10.9%	13.4%	14.3%	17.9%	20.2%	33.2%	34.9%	42.5%
		0.8%	.9%	1.3%	1.1%	2.4%	2.8%	1.4%	7.5%

◆自身の知識・スキル不足に関する認識の業種による差異は認められなかった。

		製造業	電気機械器具 製造業	サービス	情報	金融	流通・小売	その他
強く感じている	N数	72	22	97	64	23	24	33
		248	94	333	215	89	87	109
		99	40	130	58	38	36	47
		9	3	17	2	4	3	4
強く感じている	%	16.8%	13.8%	16.8%	18.9%	14.9%	16.0%	17.1%
		57.9%	59.1%	57.7%	63.4%	57.8%	58.0%	56.5%
		23.1%	25.2%	22.5%	17.1%	24.7%	24.0%	24.4%
		2.1%	1.9%	2.9%	.6%	2.6%	2.0%	2.1%

◆勤務している企業の規模(従業員規模)によっても、スキル不足認識が異なるということはない。ただし、従業員規模20～49人の企業においては、自身の知識・スキル不足を「強く感じている」と回答した人が、若干多くなっている(27.0%)

		9人以下	10～19人	20～49人	50～99人	100～299人	300～499人	500～999人	1000～4999人	5000人以上	公務
強く感じている	N数	20	10	44	24	34	29	24	68	65	17
やや感じている		69	51	91	86	154	85	96	222	252	69
あまり感じていない		27	9	26	21	55	34	40	93	104	39
ほとんど感じていない		4	2	2	1	4	0	7	5	14	3
強く感じている	%	16.7%	13.9%	27.0%	18.2%	13.8%	19.6%	14.4%	17.5%	14.9%	13.3%
やや感じている		57.5%	70.8%	55.8%	65.2%	62.3%	57.4%	57.5%	57.2%	57.9%	53.9%
あまり感じていない		22.5%	12.5%	16.0%	15.9%	22.3%	23.0%	24.0%	24.0%	23.9%	30.5%
ほとんど感じていない		3.3%	2.8%	1.2%	.8%	1.6%	.0%	4.2%	1.3%	3.2%	2.3%

◆職種により、自身の知識・スキル不足認識は、若干異なっている。サービス職は、他職種に比べると、知識・スキル不足を「強く感じている」という回答が多く、管理職は、他職種に比べると知識・スキル不足を「あまり感じていない」という回答が少なめになっている。

		サービス職	保安・警備職	運輸・通信関連職	生産工程・労務職	管理職	事務職	営業職	専門職・技術職	分類不能の職業
強く感じている	N数	14	3	2	4	17	132	30	126	7
やや感じている		23	8	12	20	129	430	98	420	35
あまり感じていない		3	3	2	6	70	189	39	130	6
ほとんど感じていない		3	0	2	2	6	14	5	9	1
強く感じている	%	32.6%	21.4%	11.1%	12.5%	7.7%	17.3%	17.4%	18.4%	14.3%
やや感じている		53.5%	57.1%	66.7%	62.5%	58.1%	56.2%	57.0%	61.3%	71.4%
あまり感じていない		7.0%	21.4%	11.1%	18.8%	31.5%	24.7%	22.7%	19.0%	12.2%
ほとんど感じていない		7.0%	.0%	11.1%	6.3%	2.7%	1.8%	2.9%	1.3%	2.0%

1-2. 仕事満足状況

- ◆ 現在の仕事に「満足している」と回答しているグループは、他のグループに比べて、自身の知識・スキル不足を「あまり感じていない」と回答している割合が高い。
- ◆ 現在の仕事に「とても不満である」と回答しているグループは、自身の知識・スキル不足を「強く感じている」と回答している割合が高くなっている。
- ◆ 現在の仕事に不満を感じている方が、自身の知識・スキル不足の認識が強いと考えられる。

Q9 あなたは現在の仕事に満足していますか。

		とても満足している	満足している	どちらともいえない	不満である	とても不満である
強く感じている	N数	16	93	117	76	33
やや感じている		66	553	367	149	40
あまり感じていない		21	247	117	53	10
ほとんど感じていない		5	20	9	5	3
強く感じている	%	14.8%	10.2%	19.2%	26.9%	38.4%
やや感じている		61.1%	60.6%	60.2%	52.7%	46.5%
あまり感じていない		19.4%	27.1%	19.2%	18.7%	11.6%
ほとんど感じていない		4.6%	2.2%	1.5%	1.8%	3.5%

1-3. 知識・スキル不足認識と成長実感

- ◆ 成長しているという実感を持っていないグループ（「あまり持っていない」「ほとんど持っていない」「全く持っていない」との回答）は、持っているグループに比べて、自身の知識・スキル不足を「強く感じている」と回答している割合が高い。特に、成長している実感を「ほとんど持っていない」「全く持っていない」グループでは、自身の知識・スキル不足を「強く感じている」と回答した割合が半数程度存在している。ただし、成長実感を「全く持っていない」と回答したグループは、自身の知識・スキル不足を「ほとんど感じていない」と回答している割合が16%と高い。
- ◆ 成長しているという実感を「非常に強く持っている」グループは、自身の知識・スキル不足を「ほとんど感じていない」と回答した割合が、他のグループに比べて高くなっている。

（追加調査）Q5. あなたは、現在の仕事を通じて、「成長している」という実感を、どの程度持っていますか。

		非常に強く持っている	ある程度強く持っている	まあ持っている	どちらともいえない	あまり持っていない	ほとんど持っていない	全く持っていない
強く感じている	N数	7	33	125	55	66	34	15
やや感じている		25	216	633	174	98	20	9
あまり感じていない		7	95	204	90	39	10	3
ほとんど感じていない		6	9	11	4	5	2	5
強く感じている	%	15.6%	9.3%	12.8%	17.0%	31.7%	51.5%	46.9%
やや感じている		55.6%	61.2%	65.1%	53.9%	47.1%	30.3%	28.1%
あまり感じていない		15.6%	26.9%	21.0%	27.9%	18.8%	15.2%	9.4%
ほとんど感じていない		13.3%	2.5%	1.1%	1.2%	2.4%	3.0%	15.6%

1-4. 自身の知識・スキル不足認識と一生の仕事の決定

- ◆ 一生の仕事を決めていない(問いに対して「いいえ」と回答)グループは、一生の仕事を決めているグループ(問いに対して「はい」と回答)よりも、自身の知識・スキル不足を「強く感じている」と回答している割合が高い。
- ◆ 一生の仕事を決めているグループは、一生の仕事を決めていないグループよりも、自身の知識・スキル不足認識を「やや感じている」「あまり感じていない」と回答している割合が多い。

Q11. あなたは、自分の一生の仕事(分野)とするものを決めていますか。

		はい	いいえ
強く感じている	N数	97	238
やや感じている		575	600
あまり感じていない		224	224
ほとんど感じていない		21	21
強く感じている	%	10.6%	22.0%
やや感じている		62.7%	55.4%
あまり感じていない		24.4%	20.7%
ほとんど感じていない		2.3%	1.9%

1-5. 自身の知識・スキル不足認識と仕事の段階

- ◆ 「仕事の基本やり方を習得しつつある段階」にあると回答したグループは、自身の知識・スキル不足を「強く感じている」と回答している割合が高い。
- ◆ 自身の知識・スキル不足を「あまり感じていない」との回答は、「常に期待以上の成果を上げ続けている段階」以上になると増加し、「第一人者として社会的に認められている段階」では、44%にのぼる。しかし、「第一人者として社会的に認められている段階」でも、自身の知識・スキル不足を感じている割合は、47%程度ある。

(追加調査) Q1. あなたは現在の仕事(分野)において、どの段階まで達していると、上司や顧客から思われていますか。

		仕事の基本やり方を習得しつつある段階	ひとり立ちしている段階	常に、期待以上の成果を上げ続けている段階	自分の知識や技術が高く評価されている段階	第一人者として社会的に認められている段階
強く感じている	N数	113	146	34	35	7
やや感じている		100	414	291	323	47
あまり感じていない		21	88	96	192	51
ほとんど感じていない		7	2	4	19	10
強く感じている	%	46.9%	22.5%	8.0%	6.2%	6.1%
やや感じている		41.5%	63.7%	68.5%	56.8%	40.9%
あまり感じていない		8.7%	13.5%	22.6%	33.7%	44.3%
ほとんど感じていない		2.9%	.3%	0.9%	3.3%	8.7%

1-6. 自身の知識・スキル不足認識と雇用に対する不安

- ◆ 自身の雇用に「不安を持っている」と回答したグループは、自身の知識・スキル不足認識を「強く感じている」割合が、他に比べて高い。
- ◆ 一方、自身の雇用に「不安を持っていない」と回答したグループは、自身の知識・スキル不足認識を「ほとんど感じていない」と回答した割合が、他のグループに比べて最も高いが、その割合は、グループの1割弱程度にとどまっている。

Q51. あなたは、あなたご自身の雇用について不安を持っていますか。

		不安を持っている	少し不安を持っている	あまり不安を持っていない	不安を持っていない
強く感じている	N数	108	143	66	18
やや感じている		183	609	315	68
あまり感じていない		43	191	171	43
ほとんど感じていない		4	14	12	12
強く感じている	%	32.0%	14.9%	11.7%	12.8%
やや感じている		54.1%	63.6%	55.9%	48.2%
あまり感じていない		12.7%	20.0%	30.3%	30.5%
ほとんど感じていない		1.2%	1.5%	2.1%	8.5%

1-7. 自身の知識・スキル不足認識と能力に対する自信

① マネジメントスキル

- ◆ マネジメントスキルに「全く自信がない」と回答したグループは、自信の知識・スキル不足を「強く感じている」と回答している割合が高めである。また、スキル不足を「強く感じている」「やや感じている」を合わせると9割を超えている。
- ◆ マネジメントスキルに「とても自信がある」と回答したグループは、スキル不足を「ほとんど感じていない」と回答している割合が、他のグループに比べて高いが、グループ内の16%である。

(追加調査) Q3. あなたは、以下の項目に対して、どの程度の自信を持っていますか。
マネジメントスキル

		とても自信がある	自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	全く自信がない
強く感じている	N数	5	44	106	95	85
やや感じている		28	341	448	282	76
あまり感じていない		16	192	172	59	9
ほとんど感じていない		9	16	10	2	5
強く感じている	%	8.6%	7.4%	14.4%	21.7%	48.6%
やや感じている		48.3%	57.5%	60.9%	64.4%	43.4%
あまり感じていない		27.6%	32.4%	23.4%	13.5%	5.1%
ほとんど感じていない		15.5%	2.7%	1.4%	.5%	2.9%

②論理的にものごとを考えると

- ◆ 論理的にものごとを考えることに「全く自信がない」と回答したグループの半数が、自信の知識・スキル不足を「強く感じている」と回答している。
- ◆ 論理的にものごとを考えることに「とても自信がある」「自信がある」と回答したグループは、スキル不足を「あまり感じていない」と回答している割合が、他のグループに比べて高い。

(追加調査)Q3. あなたは、以下の項目に対して、どの程度の自信を持っていますか。
論理的にものごとを考えると

		とても自信がある	自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	全く自信がない
強く感じている	N数	27	122	95	64	27
やや感じている		128	610	297	119	21
あまり感じていない		79	253	86	27	3
ほとんど感じていない		18	14	6	1	3
強く感じている	%	10.7%	12.2%	19.6%	30.3%	50.0%
やや感じている		50.8%	61.1%	61.4%	56.4%	38.9%
あまり感じていない		31.3%	25.3%	17.8%	12.8%	5.6%
ほとんど感じていない		7.1%	1.4%	1.2%	.5%	5.6%

③自身の心を病まずにストレスマネジメントしていくこと

- ◆ 自身の心を病まずにストレスマネジメントしていくことを「全く自信がない」と回答したグループは、他のグループに比べ、自信の知識・スキル不足を「強く感じている」と回答している割合が高い。
- ◆ 自身の心を病まずにストレスマネジメントしていくことを「とても自信がある」「自信がある」と回答したグループは、スキル不足を「あまり感じていない」と回答している割合が、自信がないグループに比べて高い。

(追加調査)Q3. あなたは、以下の項目に対して、どの程度の自信を持っていますか。
自身の心を病まずにストレスマネジメントしていくこと

		とても自信がある	自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	全く自信がない
強く感じている	N数	23	84	79	101	48
やや感じている		95	440	412	186	42
あまり感じていない		46	193	154	46	9
ほとんど感じていない		13	13	9	3	4
強く感じている	%	13.0%	11.5%	12.1%	30.1%	46.6%
やや感じている		53.7%	60.3%	63.0%	55.4%	40.8%
あまり感じていない		26.0%	26.4%	23.5%	13.7%	8.7%
ほとんど感じていない		7.3%	1.8%	1.4%	.9%	3.9%

④グローバル化に対応していくこと

- ◆ グローバル化に対応していくことに対し「全く自信がない」と回答したグループでは、自信の知識・スキル不足を「強く感じている」と回答している割合が、他のグループに比べて非常に高い。

(追加調査) Q3. あなたは、以下の項目に対して、どの程度の自信を持っていますか。
グローバル化に対応していくこと

		とても自信がある	自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	全く自信がない
強く感じている	N数	8	55	81	99	92
やや感じている		53	258	448	325	91
あまり感じていない		24	129	168	99	28
ほとんど感じていない		7	14	13	4	4
強く感じている	%	8.7%	12.1%	11.4%	18.8%	42.8%
やや感じている		57.6%	56.6%	63.1%	61.7%	42.3%
あまり感じていない		26.1%	28.3%	23.7%	18.8%	13.0%
ほとんど感じていない		7.6%	3.1%	1.8%	.8%	1.9%

⑤次々に新しいことを学んでいくこと

- ◆ 次々に新しいことを学んでいくことに対し「全く自信がない」と回答したグループは、他のグループに比べ、自信の知識・スキル不足を「強く感じている」と回答している割合が高い。

(追加調査) Q3. あなたは、以下の項目に対して、どの程度の自信を持っていますか。
次々に新しいことを学んでいくこと

		とても自信がある	自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	全く自信がない
強く感じている	N数	25	131	97	51	31
やや感じている		95	527	413	125	15
あまり感じていない		43	191	169	40	5
ほとんど感じていない		18	13	5	2	4
強く感じている	%	13.8%	15.2%	14.2%	23.4%	56.4%
やや感じている		52.5%	61.1%	60.4%	57.3%	27.3%
あまり感じていない		23.8%	22.2%	24.7%	18.3%	9.1%
ほとんど感じていない		9.9%	1.5%	0.7%	.9%	7.3%

⑥どんな人とでもうまくやっていくこと

- ◆ どんな人とでもうまくやっていくことに対し「全く自信がない」と回答したグループは、他のグループに比べ、自信の知識・スキル不足を「強く感じている」と回答している割合が高い。

(追加調査) Q3. あなたは、以下の項目に対して、どの程度の自信を持っていますか。
どんな人とでもうまくやっていくこと

		とても自信がある	自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	全く自信がない
強く感じている	N数	21	102	108	68	36
やや感じている		100	460	428	156	31
あまり感じていない		31	212	156	42	7
ほとんど感じていない		12	13	6	7	4
強く感じている	%	12.8%	13.0%	15.5%	24.9%	46.2%
やや感じている		61.0%	58.4%	61.3%	57.1%	39.7%
あまり感じていない		18.9%	26.9%	22.3%	15.4%	9.0%
ほとんど感じていない		7.3%	1.7%	0.9%	2.6%	5.1%

1-8. 自身の知識・スキル不足認識と専門分野

- ◆ 自分の専門が「ある」と回答したグループでは、「ない」と回答したグループに比べ、自身のスキル不足認識を「あまり感じていない」と回答している割合が多い。
- ◆ 自分の専門分野が「ない」と回答したグループは、「ある」と回答したグループに比べ、自身のスキル不足を「強く感じている」と回答した割合が多く、3割近くであった。

(追加調査)Q4. あなたには仕事において「これが自分の専門だ」といえるものが、明確にありますか。

		ある	ない
強く感じている	N数	140	195
やや感じている		791	384
あまり感じていない		322	126
ほとんど感じていない		31	11
強く感じている	%	10.9%	27.2%
やや感じている		61.6%	53.6%
あまり感じていない		25.1%	17.6%
ほとんど感じていない		2.4%	1.5%

2. 昨年一年間に身につけた知識・スキル

2-0. 身につけた知識・スキルの分類

◆追加調査Q9への回答データについて、主成分分析を行った。固有値、累積寄与率から2つの主成分が得られた。寄与率の状態から、昨年一年間に身につけた知識・スキルは、直接的・間接的に仕事に関連する知識・スキルと、仕事とはあまり関連しない教養・語学の知識・スキルの2つに分けられ、第一主成分を「仕事関連スキル」、第二主成分を「語学・教養スキル」とした。以降は、この主成分分析の結果得られた2つの主成分得点を【仕事関連スキル習得度】【語学教養スキル習得度】として用いる。

(追加調査Q9)あなたは、下記の知識・スキルを、昨年一年間にどの程度身につけましたか。

現在の仕事とは直接関係ないものも含んでください。

※以下は、主成分分析の結果

成分	初期の固有値			抽出後の負荷量平方和		
	合計	分散の %	累積 %	合計	分散の %	累積 %
1	3.422	48.879	48.879	3.422	48.879	48.879
2	1.054	15.060	63.940	1.054	15.060	63.940
3	.737	10.534	74.474			
4	.590	8.424	82.898			
5	.484	6.911	89.808			
6	.391	5.588	95.396			
7	.322	4.604	100.000			

	成分	
	1	2
現在の仕事に関する専門知識・技術	0.667	-0.487
仕事全般についての知識・ノウハウ	0.746	-0.418
生き方・働き方に関する知識・考え方	0.753	-0.123
社会・経済全般に関する知識	0.770	0.074
特定業界・個別企業に関する知識	0.763	0.040
哲学、歴史、文化などの教養	0.642	0.540
語学力	0.517	0.573

2-1. 回答者属性による違い

◆年齢別

【仕事関連スキル習得度】は、若い年齢層で低く、年齢と共に上昇する傾向がある。

【語学教養スキル習得度】は、年齢層による違いはあまりみられない。

	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳
1. 仕事関連スキル習得度	-0.62	-0.21	-0.06	0.03	0.01	0.15	0.27	0.31
2. 語学教養スキル習得度	0.02	0.06	0.00	-0.08	0.03	0.00	-0.02	0.01

◆業種

【仕事関連スキル習得度】は、情報産業では低くなっている。

【語学教養スキル習得度】は、金融業で低くなっている。

	製造業	電気機械器具 製造業	サービス	情報	金融	流通・小売	その他
1. 仕事関連スキル習得度	0.05	0.17	0.03	-0.18	0.15	-0.07	-0.06
2. 語学教養スキル習得度	0.04	0.16	-0.03	-0.04	-0.20	0.09	0.04

◆勤務先の従業員規模

【仕事関連スキル習得度】は、従業員規模5000人以上の企業で特に高くなっている。

	9人以下	10~19人	20~49人	50~99人	100~ 299人	300~ 499人	500~ 999人	1000~ 4999人	5000人 以上	公務
1. 仕事関連スキル習得度	-0.08	0.07	-0.15	-0.13	-0.06	-0.12	0.09	-0.07	0.22	-0.02
2. 語学教養スキル習得度	0.13	-0.03	-0.14	-0.01	0.00	0.00	0.01	-0.07	0.06	0.08

◆職種

【仕事関連スキル習得度】は、管理職が特に高くなっている。

	サービス職	保安・警備職	運輸・ 通信関連職	生産工程・労 務職	管理職	事務職	営業職	専門職・ 技術職	分類不能の職 業
1. 仕事関連スキル習得度	-0.24	-0.06	0.20	-0.23	0.30	-0.03	0.19	-0.09	-0.07
2. 語学教養スキル習得度	-0.26	-0.59	-0.03	-0.30	-0.03	0.01	0.02	0.03	0.12

2-2. 知識・スキルの習得と現在の仕事満足

- ◆【仕事関連スキル習得度】：現在の仕事に「とても満足している」「満足している」と回答しているグループは、現在の仕事に「とても不満である」「不満である」と回答しているグループに比べ、点数が高い。
- ◆【語学教養スキル習得度】現在の仕事に「とても不満である」と回答しているグループは、現在の仕事に満足しているグループに比べ、点数が高い。

Q9 あなたは現在の仕事に満足していますか。

	とても満足している	満足している	どちらともいえない	不満である	とても不満である
1. 仕事関連スキル習得度	0.38	0.12	-0.07	-0.24	-0.46
2. 語学教養スキル習得度	-0.17	-0.04	0.05	0.02	0.30

2-3. 知識・スキルの習得と成長実感

- ◆【仕事関連スキル習得度】：成長しているという実感を強く持っているグループ（「非常に強く持っている」「在る程度強く持っている」と回答）は、他のグループに比べて得点が高い。
- ◆【語学教養スキル習得度】：成長しているという実感を持っていないグループ（「ほとんど持っていない」「全く持っていない」と回答）は、他のグループに比べて得点が高い。

（追加調査）Q5. あなたは、現在の仕事を通じて、「成長している」という実感を、どの程度持っていますか。

	非常に強く持っている	ある程度強く持っている	まあ持っている	どちらともいえない	あまり持っていない	ほとんど持っていない	全く持っていない
1. 仕事関連スキル習得度	0.82	0.50	0.09	-0.20	-0.55	-0.94	-1.79
2. 語学教養スキル習得度	-0.30	-0.15	-0.05	0.12	0.16	0.47	0.52

2-4. 知識・スキルの習得と一生の仕事の決定

- ◆【仕事関連スキル習得度】：一生の仕事とするものを決めているグループの方が、決めていないグループに比べて、得点が高い。

Q11. あなたは、自分の一生の仕事（分野）とするものを決めていますか。

	はい	いいえ
1. 仕事関連スキル習得度	0.19	-0.16
2. 語学教養スキル習得度	-0.04	0.04

2-5. 知識・スキルの習得と仕事の段階

- ◆ 【仕事関連スキル習得度】は、第三段階以上で得点が高くなっている。
- ◆ 【語学教養スキル習得度】は、第一段階が他に比べて高くなっている。

(追加調査)Q1. あなたは現在の仕事(分野)において、どの段階まで達していると、上司や顧客から思われていますか。

	<第一段階> 仕事の基本ややり方を習得しつつある段階	<第二段階> ひとり立ちしている段階	<第三段階> 常に、期待以上の成果をあげ続けている段階	<第四段階> 自分の知識や技術が高く評価されている段階	<第五段階> 第一人者として社会的に認められている段階
1. 仕事関連スキル習得度	-0.65	-0.24	0.11	0.35	0.58
2. 語学教養スキル習得度	0.24	0.01	-0.04	-0.05	-0.16

2-6. 知識・スキルの習得と雇用に対する不安

- ◆ 【仕事関連スキル習得度】は、自身の雇用に「不安を持っていない」グループの得点が高くなっている。
- ◆ 【語学教養スキル習得度】は、自身の雇用に「不安を持っている」グループの得点が高くなっている。

Q51. あなたは、あなたご自身の雇用について不安を持っていますか。

	不安を持っている	少し不安を持っている	あまり不安を持っていない	不安を持っていない
1. 仕事関連スキル習得度	-0.30	0.02	0.05	0.38
2. 語学教養スキル習得度	0.14	0.02	-0.06	-0.19

2-7. 知識・スキルの習得と能力に対する自信

① マネジメントスキル

- ◆ 【仕事関連スキル習得度】は、マネジメントスキルに自信がある(「とても自信がある」「自信がある」と回答)グループが、その他のグループに比べて、得点が高い。
- ◆ 【語学教養スキル習得度】は、マネジメントスキルに「とても自信がある」と回答したグループの得点が低い。

(追加調査)Q3. あなたは、以下の項目に対して、どの程度の自信を持っていますか。
マネジメントスキル

	とても自信がある	自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	全く自信がない
1. 仕事関連スキル習得度	0.58	0.39	0.07	-0.30	-1.04
2. 語学教養スキル習得度	-0.39	0.01	0.04	-0.05	0.05

②論理的にものごとを考えること

- ◆【仕事関連スキル習得度】は、論理的にものごとを考えることに「とても自信がある」と回答したグループの得点が、他のグループに比べて高い。一方、「全く自信がない」と回答したグループの得点は、他のグループに比べて低い。

(追加調査)Q3. あなたは、以下の項目に対して、どの程度の自信を持っていますか。
論理的にものごとを考えること

	とても自信がある	自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	全く自信がない
1. 仕事関連スキル習得度	0.56	0.14	-0.23	-0.41	-1.52
2. 語学教養スキル習得度	-0.01	-0.07	0.09	0.06	0.31

③自身の心を病まずにストレスマネジメントしていくこと

- ◆【仕事関連スキル習得度】は、自身の心を病まずにストレスマネジメントしていくことに「とても自信がある」と回答したグループの得点が、他のグループに比べて高い。
- ◆【語学教養スキル習得度】は、自身の心を病まずにストレスマネジメントしていくことに「全く自信がない」と回答したグループの得点が、他のグループに比べて高い。

(追加調査)Q3. あなたは、以下の項目に対して、どの程度の自信を持っていますか。
自身の心を病まずにストレスマネジメントしていくこと

	とても自信がある	自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	全く自信がない
1. 仕事関連スキル習得度	0.46	0.21	-0.05	-0.30	-0.99
2. 語学教養スキル習得度	-0.08	-0.12	0.07	0.09	0.28

④グローバル化に対応していくこと

- ◆【仕事関連スキル習得度】【語学教養スキル習得度】ともに、グローバル化に対応していくことに対し「とても自信がある」「自信がある」と回答したグループの得点が、他のグループの得点に比べて、高くなっている。

(追加調査)Q3. あなたは、以下の項目に対して、どの程度の自信を持っていますか。
グローバル化に対応していくこと

	とても自信がある	自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	全く自信がない
1. 仕事関連スキル習得度	0.93	0.40	0.07	-0.24	-0.90
2. 語学教養スキル習得度	0.43	0.23	0.01	-0.24	-0.12

⑤次々に新しいことを学んでいくこと

- ◆【仕事関連スキル習得度】は、次々に新しいことを学んでいくことについて「とても自信がある」「自信がある」と回答したグループの得点が、その他のグループの得点に比べて高い。
- ◆【語学教養スキル習得度】は、次々に新しいことを学んでいくことについて「全く自信がない」と回答したグループの得点が、その他のグループの得点に比べて高い。

(追加調査)Q3. あなたは、以下の項目に対して、どの程度の自信を持っていますか。
次々に新しいことを学んでいくこと

	とても 自信がある	自信がある	どちらとも いえない	あまり 自信がない	全く 自信がない
1. 仕事関連スキル習得度	0.68	0.23	-0.14	-0.60	-1.81
2. 語学教養スキル習得度	-0.09	-0.03	0.03	-0.03	0.45

⑥どんな人ともうまくやっていくこと

- ◆【仕事関連スキル習得度】は、どんな人ともうまくやっていくことについて「とても自信がある」「自信がある」と回答したグループの得点が、その他のグループの得点に比べて高い。
- ◆【語学教養スキル習得度】は、どんな人ともうまくやっていくことについて「とても自信がある」と回答したグループの得点が、その他のグループの得点に比べて低い。

(追加調査)Q3. あなたは、以下の項目に対して、どの程度の自信を持っていますか。
どんな人ともうまくやっていくこと

	とても 自信がある	自信がある	どちらとも いえない	あまり 自信がない	全く 自信がない
1. 仕事関連スキル習得度	0.31	0.25	-0.06	-0.41	-1.13
2. 語学教養スキル習得度	-0.29	-0.01	0.06	-0.02	0.20

2-8. 知識・スキルの習得と専門の有無

- ◆【仕事関連スキル習得度】は、自分の専門が明確にあると回答したグループの得点が、ないと回答したグループの得点に比べて高い。
- ◆【語学教養スキル習得度】は、自分の専門が明確にあると回答したグループの得点が、ないと回答したグループの得点に比べて低い。

(追加調査)Q4. あなたには仕事において「これが自分の専門だ」といえるものが、明確にありますか。

	ある	ない
1. 仕事関連スキル習得度	0.21	-0.38
2. 語学教養スキル習得度	-0.05	0.09

2-9. 知識・スキルの習得と知識・スキル不足認識

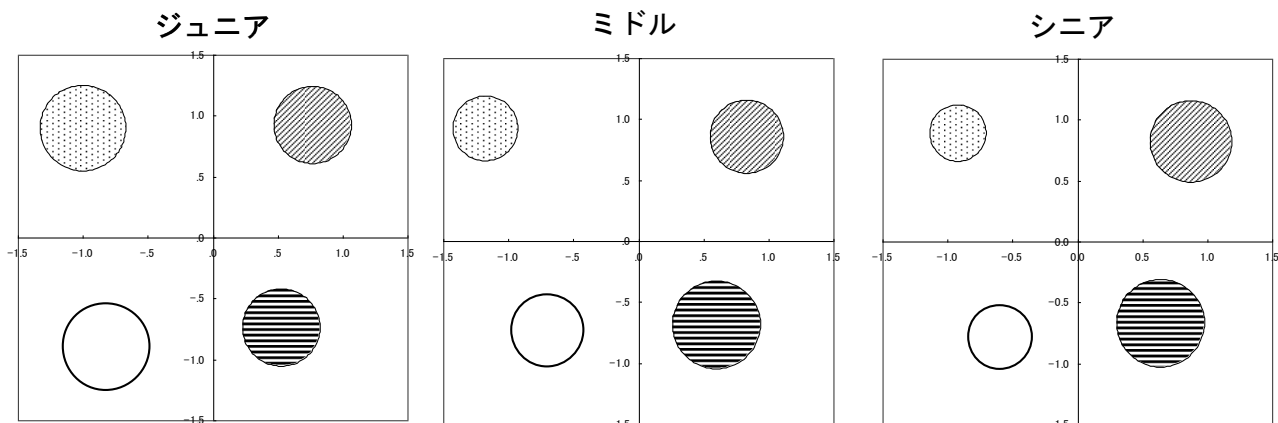
- ◆ 【仕事関連スキル習得度】は、自身に知識・スキルが不足していると「強く感じている」と回答したグループの得点が、他のグループに比べて低い。
- ◆ 【語学教養スキル習得度】は、自身に知識・スキルが不足していると「ほとんど感じていない」と回答したグループの得点が、他のグループに比べて低い。

Q8. あなたは、今後の仕事・職業人生において、自身には知識・スキルが不足していると感じていますか。

	強く感じている	やや感じている	あまり感じていない	ほとんど感じていない
1. 仕事関連スキル習得度	-0.58	-0.01	0.42	0.37
2. 語学教養スキル習得度	0.07	-0.01	0.01	-0.43

2-10. 知識・スキルの習得状況～世代別～

- ◆ ジュニア(18～35歳)は、【仕事関連スキル習得度】が低いグループが多い。また、【仕事関連スキル習得度】は低いが、【語学教養スキル習得度】は高いグループが、ミドルやシニアに比べると多いのが特徴である。
- ◆ ミドルは、【仕事関連スキル習得度】が高く、【語学教養スキル習得度】は低いグループが多い。
- ◆ シニアは、【仕事関連スキル習得度】【語学教養スキル習得度】の両方が高いグループが、ジュニア、シニアに比べて多い。また、全体的に【仕事関連スキル習得度】が高いのが特徴である。



【仕事関連スキル習得度】【語学教養スキル習得度】それぞれについて、平均点で2つのグループに分け、各グループの組み合わせにより4つのグループに分類した。例えば、【仕事関連スキル習得度】が平均値以上、【語学教養スキル習得度】が平均値以上の場合、第一象限に属するようグループ分けを行った。なお、バブルの大きさは、各グループの所属人数の規模を示している。